

# 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案について

神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課がん・肝炎対策グループ  
令和4年11月

## 目次

- 1 神奈川県肝炎対策推進計画（第2期）の目標達成状況
- 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案
- 3 今後のスケジュール

## 1 神奈川県肝炎対策推進計画（第2期）の目標達成状況

### 1 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

⇒肝炎に対する認知度（どのような病気か知っている割合）の向上  
＜県民ニーズ調査＞

指標	基準値 (H25)	目標値	進捗状況 (R3)	
県民ニーズ調査における認知度 H25年度から10ポイント増加	47.4%	57.4%	50.00%	目標 未達成

#### 【分析・評価】

- ・認知度は依然として低く、更なる普及啓発が必要である。
- ・メディアやSNS等を利用した普及啓発、職域による普及啓発を更に推進する必要がある。
- ・肝疾患コーディネーターや関係機関との連携を強化する必要がある。

## 1 神奈川県肝炎対策推進計画（第2期）の目標達成状況

### 2 肝炎ウイルス検査の受検の促進

⇒肝炎ウイルス検査受検率の向上＜県民ニーズ調査＞

指標	基準値 (H29)	目標値	進捗状況 (R3)	
県民ニーズ調査における受検率 H29年度から10ポイント増加	23.2%	33.2%	25.1%	目標 未達成

#### 【分析・評価】

- ・受検率は依然として低く、更なる普及啓発が必要である。
- ・特に職域における受検勧奨を促進する必要がある。
- ・市町村との連携を強化する必要がある。

## 1 神奈川県肝炎対策推進計画（第2期）の目標達成状況

### 3 肝炎医療を提供する体制の確保

⇒**県内全市町村において肝炎ウイルス陽性者を適切に医療につなげるための体制を構築（陽性者フォローアップ事業を全市町村で実施）**

指標	計画策定時の 数値(H29)	目標値	進捗状況 (R4)	
フォローアップ実施市町村数 県内全市町村で実施	19自治体	33自治体	28自治体	目標 未達成

#### 【分析・評価】

- ・フォローアップマニュアルの作成や好事例の共有等、自治体の支援が必要である。
- ・フォローアップが受診、受療につながっているか（形式的になっていないか）の検証が必要である。

## 1 神奈川県肝炎対策推進計画（第2期）の目標達成状況

### 4 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成

⇒**「肝疾患コーディネーター」を養成し、かかりつけ医療機関、薬局、職域、行政などに配置**

指標	計画策定時の 数値(H29)	目標値	進捗状況 (R3)	
肝疾患コーディネーター 500人養成・配置	51人	500人	578人	目標 達成

#### 【分析・評価】

- ・育成数については目標を達成している。コーディネーターの存在を周知していく必要がある。
- ・配置自治体や職種に偏りがある。

## 1 神奈川県肝炎対策推進計画（第2期）の目標達成状況

- 5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実  
⇒相談したいが相談できないでいる患者（「相談先がわからない」も含む）の割合をゼロにする〈患者に対する意識調査〉

指標	計画策定時の 数値(H28)	目標値	進捗状況 (R2)	
患者調査における該当者の割合 0%	15.7%	0.0%	10.0%	目標 未達成

### 【分析・評価】

・肝疾患コーディネーター、肝疾患相談センターの認知度を向上する必要がある。

## 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案

基本理念 ※現計画から継続

正しい知識で肝臓を守り、いのちをつなぐ・支える神奈川づくり

基本方針 ※現計画から継続

知る・・・まず知ることから

動く・・・自ら行動する

支える・・・県民総ぐるみで支える

### 【協議会での意見】

地道に着実に進めていかなければならない計画なので、基本理念・基本方針は簡単に変えるようなものではない。

## 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案

### 全体目標と施策展開の柱 ※現計画から継続

#### 全体目標

ウイルス性による肝炎から肝硬変または肝がんへの移行者を減らす

※R3 国の「基本指針」の目標に準拠

#### 柱

- 1 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発
- 2 肝炎ウイルス検査の受検の促進
- 3 肝炎医療を提供する体制の確保
- 4 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成
- 5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

## 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案

### 個別目標

- 1 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

⇒肝炎に対する認知度（どのような病気か知っている割合）の向上

〈県民ニーズ調査〉 ※目標値を見直して継続

指標	現状値(R3)	目標値	目標値の考え方
県民ニーズ調査における認知度	50.0%	60.0% (R9)	これまでアプローチしていない分野を開拓することで、R3実績から10ポイント向上を目指す <span style="color: red;">※R4実績を踏まえて修正の可能性あり</span>

#### 【協議会での意見】

C型肝炎については、若年の段階できちんと治療すればおそらく完治が得られる。この点をもっと前面に出して宣伝し、治療につなげることが重要。

## 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案

### 個別目標

#### 2 肝炎ウイルス検査の受検の促進

⇒肝炎ウイルス検査受検率の向上〈県民ニーズ調査〉 ※継続

指標	現状値 (R3)	目標値	目標値の考え方
県民ニーズ調査における受検率	25.1%	33.2% (R9)	現計画で未達成のため継続

#### 【協議会での意見】

- ・「自分事」として捉えてもらえるような周知、啓発をどのように行うか検討すべき。
- ・他の検査(HIVなど)の際に肝炎ウイルス検査を同時に実施し、勧奨する取組が有効ではないか。
- ・県民ニーズ調査より、むしろ実際の受検率を目標値にしてはどうか。

## 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案

### 個別目標

#### 3 肝炎医療を提供する体制の確保

⇒①陽性者フォローアップ事業を県内全市町村で実施 ※継続

②フォローアップにより受診につながった患者数の向上 ★新規

指標	現状値	目標値	目標値の考え方
①フォローアップ実施市町村数	28自治体 (R4)	33自治体 (R9)	現計画で未達成のため継続
②初回精密検査費助成受給者数	44件 (R3)	70件 (R9)	全国受給者数約1,000件の7% (神奈川県の人口割合) = 70件を目標値とする

## 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案

### 個別目標

#### 3 肝炎医療を提供する体制の確保

- ⇒①陽性者フォローアップ事業を県内全市町村で実施 ※継続  
②フォローアップにより受診につながった患者数の向上 ★新規

#### 【協議会での意見】

- ・市町村のフォローアップが形式的なものになっていないか、陽性者の完全なフォローアップにつながっているかどうかを見ていく必要がある。
- ・スクリーニング検査で陽性となった方が肝臓専門医にたどりつける仕組みが重要。(特に高齢の方、ネット環境がない方)
- ・妊婦健診や手術前検査で陽性となった方のフォローアップが課題。
- ・肝炎情報センター長より、神奈川県は検査費用助成、肝がん・重度肝硬変医療費助成の件数をもっと増やしてほしいと言われている。助成件数の向上を目標とするのは非常によいのではないか。

## 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案

### 個別目標

#### 4 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成

- ⇒肝疾患コーディネーターを県内全市町村に配置 ★新規

指標	現状値(R3)	目標値	目標値の考え方
肝疾患コーディネーター 配置自治体	18自治体	33自治体 (R9)	職域や行政など、配置が十分でない領域にアプローチすることで、全市町村への配置を達成する

#### 【協議会での意見】

- ・コーディネーターは人口の多い市には多く配置されているが、そうではない町等ではなかなか浸透しない。
- ・コーディネーターの育成は進んでいるが、患者さんにコーディネーターの存在が十分周知されているかが課題。

## 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案

### 個別目標

- 5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実  
 ⇒相談したいが相談できないでいる患者（「相談先がわからない」も含む）の割合をゼロにする＜患者調査＞ ※継続

指標	現状値(R2)	目標値	目標値の考え方
患者調査における該当者の割合	10.0%	0.0% (R9)	現計画で未達成のため継続。肝疾患相談センターの認知度向上（「知らなかった」が61.0%）及び肝疾患コーディネーターの配置、周知により達成する

#### 【協議会での意見】

相談したいという方が、肝疾患コーディネーターを介して専門医受診につながる事が重要。

## 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案

### 施策体系 ※赤字は修正箇所

- 1 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発
  - (1) 肝炎を予防するための普及啓発
    - リーフレット等を活用した広報
    - 若年層を対象とした普及啓発
    - 医療従事者への情報提供
    - 職域における普及啓発の推進
    - がん教育との連携による普及啓発
  - (2) B型肝炎ワクチンの定期接種及びインターフェロンフリー治療の推進
    - B型肝炎ワクチン定期接種の推進
    - インターフェロンフリー治療の推進
  - (3) 肝炎患者等に対する偏見や差別の防止
    - 医療従事者への啓発
    - ホームページ等での普及啓発

## 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案

### 施策体系 ※赤字は修正箇所

#### 2 肝炎ウイルス検査の受検の促進

##### (1) 肝炎ウイルス検査に関する普及啓発

- リーフレット等を活用した広報活動の強化等
- がん検診と連携した受検促進

##### (2) 肝炎ウイルス検査の実施

- 特定感染症等検査事業における肝炎ウイルス検査の実施
- 健康増進事業における肝炎ウイルス検査の実施

##### (3) 職域における受検勧奨

- 健診機関との連携による受検勧奨
- 事業主等への啓発

#### 3 肝炎医療を提供する体制の確保

##### (1) 肝疾患医療ネットワークの充実・強化

- ネットワークのあり方検討等

##### (2) 検査陽性者のフォローアップ

- フォローアップ体制の充実等
- 「肝臓手帳」等による周知

## 2 神奈川県肝炎対策推進計画の改定素案

### 施策体系 ※赤字は修正箇所

#### 4 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成

##### (1) 医療従事者のスキルアップ

- 医療従事者研修会の実施

##### (2) 肝炎対策に携わる人材の育成

- 肝疾患コーディネーターの養成及び配置

#### 5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

##### (1) 相談支援

- 肝疾患医療センターにおける相談事業
- 肝疾患コーディネーターによる相談窓口案内の支援

##### (2) 肝炎患者等に対する情報提供等

- 相談会、講演会の開催
- ホームページ等での情報提供の充実
- 治療と仕事の両立に係る情報提供等

##### (3) 肝炎治療医療費助成制度等の実施

- 肝炎治療医療費助成制度の実施
- 検査費助成制度の実施
- 肝がん重度肝硬変助成制度の実施

### 3 今後のスケジュール

令和4年11月 第2回神奈川県肝炎対策推進協議会（Web会議）

12月 厚生常任委員会報告（素案）  
パブリックコメント

令和5年 2月 第3回神奈川県肝炎対策推進協議会（開催方法未定）

3月 厚生常任委員会報告（計画案）

### ◇ 前回協議会での質問事項の報告

#### 1. 肝疾患コーディネーター職種 ※R2、R3年度認定者に対して調査（n=352）

職種	R2	R3	R2,R3計	割合
薬剤師	99	57	156	44%
看護師・准看護師	25	23	48	14%
営業・販売	16	24	40	11%
臨床検査技師	27	2	29	8%

#### 2. 県リーフレット配布先

H30年度（H31年3月）に以下のとおり配布

- 神奈川県薬剤師会 28,000部
- 肝炎ウイルス検査委託医療機関 7,200部
- 肝疾患コーディネーター 2,500部
- 各市町村肝炎ウイルス検査担当 540部
- 県保健福祉事務所 240部
- 保健所設置市肝炎担当 180部 など